

海外安全対策情報（令和元年度第2四半期）

1 社会・治安情勢

一般的には不安定な要素はなく、対日感情も良好。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) ロサンゼルス市警察の発表する統計によると、2019年10月5日までの同市警察管内の殺人事件発生件数は201件、暴行、強姦、強盗等を含めた凶悪犯罪の総発生件数は前年同期比4.0%減の21,717件となっている。全般的に、凶悪犯罪発生件数はやや減少しているものの、**危険な地域への移動、夜間帯の行動等には引き続き注意が必要**である。

住居侵入、車両盗難及び車上荒らし等、財物目的の犯罪については、発生件数70,711件と、依然多くの被害が発生しており、旅行者については、食事中の盗難、路上駐車中の車上荒らし等窃盗の被害を受ける傾向にあるので、**貴重品の管理には特に注意が必要**である。

1月1日から10月5日までの罪種別犯罪件数（ロサンゼルス市警察管轄内）については、以下のとおり。

事件種別	2019年（件）	2018年（件）	同期比（%）
殺人	201	193	4.1
強姦	1,141	1,533	-25.6
強盗	7,264	7,949	-8.6
暴行	13,111	12,957	+1.2
凶悪犯罪計	21,717	22,632	-4.0
住居侵入	10,163	12,010	-15.4
車両盗難	11,607	13,358	-13.1
車上荒らし	23,038	25,049	-8.0
窃盗	25,903	26,162	-1.0
財物目的犯罪計	70,711	76,579	-7.7
合計	92,428	99,211	-6.8

(2) 日本人被害事案（一般犯罪）

上述のとおり、財物目的の犯罪に巻き込まれる事案が多々発生しており、特に、車上荒らし及び置き引きに遭うケースが多い。外出時の貴重品管理を徹底することはもちろん、車を離れる際は、決して貴重品類を車内に放置せず、自ら車上荒らしの対象となる行為は避ける必要がある。

近年、ライドシェアサービスを装った詐欺被害が報告されており、いずれも本人がドライバーや車両等の情報を確認していれば防げた被害であるため、右サービス等を利用する際は、自身の依頼内容を確実に確認した上で利用する必要がある。

また、治安機関を装った電話によるソーシャルセキュリティナンバーの窃取事例が報告されており、右聞き取りに際しては安易に自身のソーシャルセキュリティナンバーを教えないことが重要である。

(3) 日本人被害事案（特異な事件・事故）

当館管轄地域内において、当該情報に接していない。

※更に詳しい治安情報や防犯対策情報は下記「安全の手引き(2019年3月19日改訂)」参照

https://www.la.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/m03_03.htm

3 テロ・爆弾事件発生状況

当館管轄地域内において、当該情報に接していない。

ただし、依然としてテロの脅威は全米において存在しているため、テロの標的となりやすい場所（観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設（特に軍、警察、治安関係施設）等）を訪れる際は、予め非常口や避難経路を確認し、常に周囲の状況に注意を払う必要がある。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

邦人を対象とした当該情報に接していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当館管轄地域内において、当該情報に接していない。

6 参考情報

(1) 当地犯罪マップ <https://www.crimemapping.com/>

(2) 外務省「海外安全ホームページ」 <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

(スマートフォン版) <https://www.anzen.mofa.go.jp/sp/index.html>

(モバイル版) <http://www.anzen.mofa.go.jp/m/mbtop.html>

(3) 安全の手引き(2019年3月19日改訂版)

https://www.la.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/m03_03.htm